

コロナ禍でも演奏の場を 印西市内10会場で音楽祭



音楽による地域の活性化と地域文化の向上を目的にした野外音楽イベント「第1回印西まちなか音楽祭」が5月22日、印西市原のBIGHOPガーデンモール印西や牧の原ロドリッジなど市内10会場で開催された。市内外から55組約300人のミュージシャンらが集まり、演奏を披露した。

来賓あいさつで、中澤俊介市議会議長は、長期化する

コロナ禍の影響でコンサートが中止になるなど、音楽業界を取り巻く状況が厳しい現状に触れた上で「印西まちなか音楽祭が、音楽という魅力あふれるイベントを発信していくことに発展していくことを祈念します」と述べた。

一方で板倉正直市長は、あいさつを一通り述べた後、唐突に「印西音頭」を歌いだす一幕があった。

市内10会場のうち、牧の原モア「水の広場」では、大学生ら4人組のバンド「Small World」が演奏し、買い物客らが演奏に聞き入っていた。

同バンドの高山莉彩さん(19)は「東京では演奏後「見てくれる人が手を叩いてくれて、ライブを楽しくやるのができた。出て楽しかった」と述べた。

同バンドは、普段は大学のある市川市内のスタジオで練習するが、コロナ禍でライブが開けず、音楽活動への制約が残る。メンバーの1人で印西市出身の川村錬さん(19)は「大学の軽音部に入っているけど、なかなか活動ができなくて、ライブの場所を見つけないのが難しい」と明かした。

音楽祭への出演依頼を受けた川村さんは「地域でライブのイベントがあるのがあるがたい」と関係者らに感謝の意を示した。

同音楽祭の佐々木光子実行委員長(67)は「音楽を演奏する場所も、聞く場所も、コロナでパタッと途絶えてしまった。演奏の場を提供して、近隣の方々にも少しでも希望の持てる音楽祭にできたら」と、音楽祭の開催意義を説いた。

音楽祭のロゴを製作した、市内在住のグラフィックデザイナー、山崎百子さん(42)は「また来年も再来年も続くイベントになればいいな」と期待を寄せた。

板倉正直市長は、印西まちなか音楽祭の挨拶の場面でいきなり「印西音頭」を歌いだした。茨城県内を中心にこれまで様々な自治体トップを取材してきたが、板倉市長の行動はあまりにも唐突すぎて、何が起きたのか理解に苦しんだ。▼会場に居合わせた一定数の来場者たちは眉をひそめ、来場者の一人は「市役所職員が傷害容疑で逮捕されて大変な時期に、よく印西音頭なんか歌えるね」と、不快感をあらわにしていた。来場者の不快感は当然だろう。▼「印西市職員が傷害容疑で逮捕」という重大事件が起きたのならば、年4回の定例記者会見や、5月18日の臨時議会までコメントを控えるのではなく、早急に臨時記者会見を開いて事件について謝罪し、報道陣からの厳しい質問に対して自分の言葉で語るべきであろう。印西市にも危機管理室があるならば「不祥事発生時の組織トップが取るべき行動」を、板倉市長に進言すべきではないだろうか。

「印西音頭を歌うな」というつもりはない。印西音頭を歌うならば、時と場所を弁えていただきたい、という事をお願いしたいだけである。

編集長より一言

新型コロナウイルスの影響で停止していた外国人観光客の受け入れが、団体ツアー客限定で、6月10日から約2年ぶりに再開された。コロナ後を見据えて各種イベントが再開されるなどの動きが見られるが、コロナ感染への不安は残る。

印西市岩戸の「モバイル移動型抗原抗体検査センター」では、感染の早期発見に役立つ「抗原検査」と、ウイルスの侵入から身体を守るとされている抗体の増減を数値化した「抗体検査」を行っている。同センターの担当者に話を聞いた。

Q 抗原検査ではどのような事が分かりますか？
A 抗原検査では、現在の感染の有無が分かります。当センターでは検査時間は15分です。

Q 抗体検査ではどのような事が分かりますか？
A 抗体検査では、過去の感染歴、ワクチン接種で体内に抗体が作られていたかどうか分かります。当センターでは検査時間は10分です。

Q 抗原検査や抗体検査は定期的に受ける必要がありますか？
A 感染を防ぐためには、何の症状もない普段の生活の中で抗原検査や抗体検査を受けることが重要になります。

Q 夏休みで旅行や帰省、イベント参加の際は抗原検査や抗体検査を受けたほうがいいですか？
A 検査を受けることをお勧めします。ご自身や大事な方を守るため、「コロナに感染しない、感染させない」ためにも、検査を受けましょう。

ごみの減量、環境問題について考える いんざい環境フェスタが開催

ごみの減量や環境保全に取り組む市民団体や企業など13団体が集まった「いんざい環境フェスタ」が6月4日、印西市中央北のイオンモール千葉ニュータウンコスモス広場で開かれた。同イベントは1991年の「印西町ごみ博覧会」が起源で、コロナ禍で中止になった2020年を除いて今年で31回目。

会場では、ごみの減量や印旛沼の水質保全、環境保全についてのパネルが展示され、来場者たちは興味深く見入っていた。

このうち、家電リサイクルを担う企業・印旛共進のブースでは、回収した家電

を手作業で分解してリサイクル可能な金属を取り出す工程を説明していた。同社の担当者は「手作業で1個ずつ部品ごとに取り出すのでリサイクル率が高い。家電1台を分解するのに1時間かかる」と、分解作業の苦勞を説明した。

印西市社会福祉協議会のブースでは、家庭で余った食品の寄付を受け付ける「フードドライブ」窓口を設置し、来場者たちが缶詰など保存食品を寄付した。

イベントを運営した、同市クリーン推進課の担当者は「毎年行わなければならない重要な事業。市の重点事項としてごみ問題をとら

えている」として、イベントの意義を強調した。

同課では22年3月から、食品ロス削減に取り組む飲食店・小売店に対し、市が食品ロス削減の協力店として登録する「印西市食品ロス削減協力店登録制度」を開始。これまでに市内4店舗の小売店が登録した。

同制度参加のメリットに▽ごみ減量・環境負荷に配慮した店舗としてイメージアップ▽市ホームページに

登録店舗を常時掲載。市主催イベントで周知▽食べ残し廃棄・売れ残り商品廃棄が減り、ごみ処理費用が削減し、市内事業者の参加を呼びかけている。



多くの来場者でにぎわう「いんざい環境フェスタ」

え、近隣の方々にも少しでも希望の持てる音楽祭にできたら」と、音楽祭の開催意義を説いた。

定期的な検査で安心な生活を

新型コロナ ドライブスルー検査

新型コロナウイルスの影響で停止していた外国人観光客の受け入れが、団体ツアー客限定で、6月10日から約2年ぶりに再開された。コロナ後を見据えて各種イベントが再開されるなどの動きが見られるが、コロナ感染への不安は残る。

印西市岩戸の「モバイル移動型抗原抗体検査センター」では、感染の早期発見に役立つ「抗原検査」と、ウイルスの侵入から身体を守るとされている抗体の増減を数値化した「抗体検査」を行っている。同センターの担当者に話を聞いた。

Q 抗原検査ではどのような事が分かりますか？
A 抗原検査では、現在の感染の有無が分かります。当センターでは検査時間は15分です。

Q 抗体検査ではどのような事が分かりますか？
A 抗体検査では、過去の感染歴、ワクチン接種で体内に抗体が作られていたかどうか分かります。当センターでは検査時間は10分です。

Q 抗原検査や抗体検査は定期的に受ける必要がありますか？
A 感染を防ぐためには、何の症状もない普段の生活の中で抗原検査や抗体検査を受けることが重要になります。

Q 夏休みで旅行や帰省、イベント参加の際は抗原検査や抗体検査を受けたほうがいいですか？
A 検査を受けることをお勧めします。ご自身や大事な方を守るため、「コロナに感染しない、感染させない」ためにも、検査を受けましょう。

抗原検査：3300円
抗体検査：3300円
中和抗体検査：5500円
陰性証明書：10000円
※検査キット込み

モバイル移動型抗原抗体検査センター
印西市岩戸3629の1
電話0476(85)5526
<https://www.a-analyzer.jp/>

利用者さん募集！

「障がいをお持ちの方、ひきこもりの方がいるご家族へ」
ゆっくり長く働きたい方、ステップアップを考えている方
ご自身のペースで安心できる環境で働く準備をはじめませんか？

入力作業・webデザイン・軽作業・あなたの「働きたい」をサポートします！

ひきこもり
精神障害
発達障害
知的障害
身体障害
難病

の方など

就労継続支援B型 / 就労移行支援
みらいキャリアサポート
印西牧の原

☎0476-33-7523

<https://www.miraics.jp/>

〒270-1335
千葉県印西市原1-2
BIGHOP ガーデンモール印西